

2016年 経済情報 第2問

- 2 a, b は定数で $b > 0$ とする。2つの2次方程式

$$x^2 + 2ax - a^2 + b = 0 \quad \dots \textcircled{1}$$

$$x^2 + ax + a + \frac{5}{4} = 0 \quad \dots \textcircled{2}$$

について、以下の問いに答えなさい。

- (1) $b = 2$ とするとき、2つの2次方程式①と②がともに実数解をもつような a の値の範囲を求めなさい。
- (2) $b = \frac{1}{2}$ とするとき、2つの2次方程式①と②のどちらか一方だけが実数解をもつような a の値の範囲を求めなさい。
- (3) 2次方程式①が実数解をもち、2次方程式②が実数解をもたないような a の値の範囲を b を用いて表しなさい。

(1) ①, ② の判別式をそれぞれ D_1, D_2 とすると、

$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{ がともに実数解をもつ } \Leftrightarrow D_1 \geq 0 \text{ かつ } D_2 \geq 0$$

$$\Leftrightarrow D_1/4 = a^2 - (-a^2 + b) \geq 0 \text{ かつ } D_2 = a^2 - 4(a + \frac{5}{4}) \geq 0$$

いま、 $b = 2$ より、

$$2a^2 - 2 \geq 0 \text{ かつ } a^2 - 4a - 5 \geq 0$$

$$\therefore a^2 \geq 1 \text{ かつ } (a-5)(a+1) \geq 0$$

$$\therefore (a \leq -1, 1 \leq a) \text{ かつ } (a \leq -1, 5 \leq a)$$

よって、右の図より。 $a \leq -1, 5 \leq a$ 。



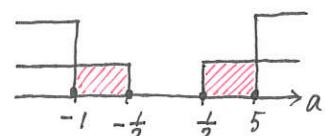
(2) (1)と同様に、 $D_1 \geq 0$ と $D_2 \geq 0$ のどちらか一方だけが成り立つ

$$\therefore a^2 \geq \frac{1}{4} \text{ と } (a-5)(a+1) \geq 0 \text{ のどちらか一方だけが成り立つ}$$

$$\therefore a \leq -\frac{1}{2}, \frac{1}{2} \leq a \text{ と } a \leq -1, 5 \leq a \text{ のどちらか一方だけが成り立つ}$$

左の図より。 $-1 < a \leq -\frac{1}{2}, \frac{1}{2} \leq a < 5$ 。

等号が入るとこには注意



(3) 同様に、 $D_1 \geq 0$ かつ $D_2 < 0$

$$\therefore a^2 \geq \frac{1}{2}b \text{ かつ } -1 < a < 5$$

$$b > 0 \text{ より。 } (a \leq -\sqrt{\frac{b}{2}}, \sqrt{\frac{b}{2}} \leq a) \text{ かつ } -1 < a < 5$$

$$\begin{cases} 0 < b < 2 \text{ のとき。 } -1 < a \leq -\sqrt{\frac{b}{2}}, \sqrt{\frac{b}{2}} \leq a < 5 \\ 2 \leq b < 50 \text{ のとき } \sqrt{\frac{b}{2}} \leq a < 5 \\ b \geq 50 \text{ のとき 解なし} \end{cases}$$